

佐伯市立 佐伯小学校

学力向上プランの概要

①組織的な授業改善

- ・国語科における付けたい力を明確にし、適切な言語活動を工夫して設定する。
- ・学習計画を作成し、子どもたちに単元の見通しをもたせる。
- ・各種思考ツールを活用した授業の創造。
- ・ペアやグループ学習を取り入れ意見交流を行う授業展開の工夫。

②朝学習の充実と個別指導

- ・毎日、朝学習（ドリル学習など）を行って基礎基本の定着をはかる。
- ・個別指導の時間「放課後寺子屋」を毎週行い、苦手な子どもたちへの個に応じた支援、補充学習を全職員で行う。

効果のある取組事例

① 学習規律の徹底

- ・「佐伯小学びの約束」を使っでの指導。家庭への協力依頼。
- ・筆箱の中身の統一。
- ・学期始めに全校集会で周知。

② 国語科における授業改善

- ・単元を貫いた言語活動を位置づけた国語科の授業推進。
- ・子どもたちと共有した学習計画を、教室内に全単元掲示。
- ・各種思考ツールを用いた指導の工夫。
- ・言語活動の成果物を残し、次年度の授業のモデル、改善点をさぐる参考とする。また、他校の言語活動のモデルとして活用。

③ 校内研修による授業改善

- ・国語科の自主公開研究会（令和元年10月25日）を行い、全職員での研修。
- ・水戸部前調査官を招聘（年間2回）しての、校内研修。
- ・附属小学校、本匠小と連携した国語科の研究推進（適時）。
- ・算数科の研究授業を行い、活用力を伸ばす授業改善に関する研修を行う。

④ 子どもたちの学習意欲を向上させるための工夫

- ・個別指導の時間「放課後寺子屋」を毎週開催。
- ・学校図書館を活用した授業の推進。

⑤ 問題データベース等を活用した個々の実態把握

- ・算数科における前学年までの学習内容で、どこにつまずきがあるのかを把握し、指導に生かす。

佐伯小 学びのやくそく

(授業)

- チャイム(時間)がなったら席にすわる。
- 休み時間に2つのことをすませておく。
 - ・次の勉強の用意をする。(ノート・鉛筆など)
 - ・トイレに行く。
- 授業中、関係ないおしゃべりはしない。
- 授業中、勝手な立ち歩きはしない。
- 授業中、勉強に必要な道具だけ机に出す。
- 教科書やノートに落書きをしない。

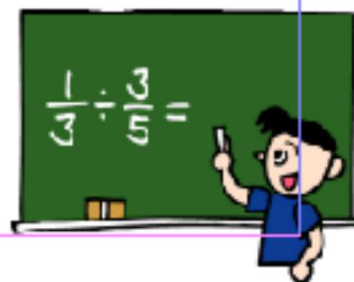


(話す)

- 進んで発表しよう。
 - ・ひじをのばし、手のひらを前に向ける。
 - ・一度だけ「はい」と返事をする。
 - ・人に伝わるように、声の大きさを考えて話す。
- あてられたら「はい」と返事をし、立って話をする。

(聞く)

- 先生や友だちの話を最後まで聞く。
- 自分の考えと比べながら聞く。
- 友だちの意見や考えを、笑ったりバカにしたりしません。



家庭で協力していただきたいこと